

# 「救急患者の問診情報を用いた外来転帰予測に関する検討」

## 研究実施のお知らせ

### 1. 研究の対象となる方

2024年5月17日から2027年7月31日に、当院救急外来を受診された方へ

### 2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ~ 2029年3月31日

### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2024年7月1日

### 4. 研究の目的

本研究によって、専門家の判断を仰がずとも、簡単な質問に答えることで救急外来を受診した際に帰宅となるのか、処方を受けるのか、入院などになるのか、ある程度予想してくれるAIシステムを開発することができる可能性があります。また、医師が救急患者さんを診察するときの検査の実施などについてアドバイスできるようになることも期待できます。

### 5. 研究の方法

救急外来を受診された患者さんの診察前問診データ（症状や症状の出現する頻度、今までに罹った病気や受けたことのある手術、現在服用されている薬の種類、アレルギー等多岐にわたります）と、その日に行った検査の種類、診断名、治療や転帰（帰宅・入院等）を紐づけて抽出します。

得られたデータをデータベースに蓄積します。このデータを人工知能で学習し、問診データのそれぞれの項目と行われた検査や診断名、治療や転帰との関係性を解析することによって、重症度や緊急性を判別するためのアルゴリズムを構築します。

解析によって得られた各種のデータはデータ管理用のインターネットに繋がっていないパソコンで保管します。患者さんの基本情報（年齢、性別、診断名、診療内容、転帰（帰宅・入院等）、問診データ）についても登録を行いますが、個人が同定されないよう匿名化されます。

構築されたアルゴリズムを用いて、患者さんが病院を今すぐ受診すべきかどうかを判断したり、どのような治療が必要になりそうなのかを事前に予測できるツールに応用することを目指します。また、医師においては、対応する医師によって異なる経験や技量によらず、全ての医師が必要性の高い検査を確実にを行い、短時間で効率よく診断・治療を行うための意思決定に寄与するツールに応用することを目指します。

### 6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療録情報（年齢、性別、診断名、診療内容、転帰（帰宅・入院等）、問診データ）

試料：該当なし

## 7. 外部への試料・情報の提供

収集した情報は、氏名等の特定の個人を識別することができる記述を削除し、代わりに研究用の番号を付与し、パスワード設定したファイルを電子メールによって千葉工業大学 人工知能・ソフトウェア技術研究センター (STAIR Lab)へ提供します。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

## 8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学医学部 救急集中治療医学講座 教授 森口 武史

【外部解析機関】

千葉工業大学 人工知能・ソフトウェア技術研究センター (STAIR Lab) 吉川 友也

## 9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

## 10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

## 11. 利益相反について

外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、山梨大学医学部救急集中治療医学講座の研究費を用いて実施します。この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

## 12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

山梨大学医学部 救急集中治療医学講座 教授 森口 武史

住所：〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110 山梨大学医学部救急集中治療医学講座

メールアドレス：eccm@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-6716